



発行所 福井県大野郡和泉村 下穴馬 912-02 中電 912-03

(昭和47年10月1日現在)

村の人口	2人
出生	1人
死亡	4人
転入	12人
転出	2,350人
総人口	1,221人
男	1,129人
女	651世帯
世帯数	651世帯
村の面積	332.60 km <sup>2</sup>

**今月の目標**  
読書の秋です  
●本を読む習慣をつけましょう  
●良い本を読んで人格を高めましょう

# 村長に杉本又助氏

## 村議に山内守人氏

任期満了による本村の村長選挙は、去る十月十五日告示されて十月二十二日執行され、村内五投票所で投票が行なわれ、即日開票の結果、現村長の杉本又助氏が五たび和泉村長に当選されました。今回の村長選挙は、和泉村に於ては、前々回の三十九年秋と今回の二回目と十五日の告示以来、村始まって以来の激しい選挙戦となり、投票率も九五、五と本村たち始めて以来最高の投票率となりました。また、村長選挙に便乗して行なわれた村議会議員補欠選挙(一名)は、山内守人氏一人の立候補のため、二十二日の投票日を待たず無投票当選が決定しました。

### 和泉村長選挙開票結果

当 七八二 杉本又助 無現 62  
次 六五八 新井一雄 無新 49  
▽当日の有権者総数 一、五一三  
▽投票者数 一、四四五  
▽有効投票 一、四四〇  
▽無効投票 一三五  
▽投票率 九五、五一%



### 前回の村議選、及び村長選との比較

	当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
今回の村長選 47年10月	773	740	1,513	740	705	1,445	32	35	67	95.73	94.13	95.51
前回の村議選 45年7月	764	759	1,523	722	718	1,440	42	41	83	94.50	94.60	94.55
前回の村長選 39年10月	1,384	1,430	2,814	1,248	1,265	2,513	136	165	301	90.17	88.46	89.30

### 越美北線 延長工事

## 朝日へ第一号機関車到着

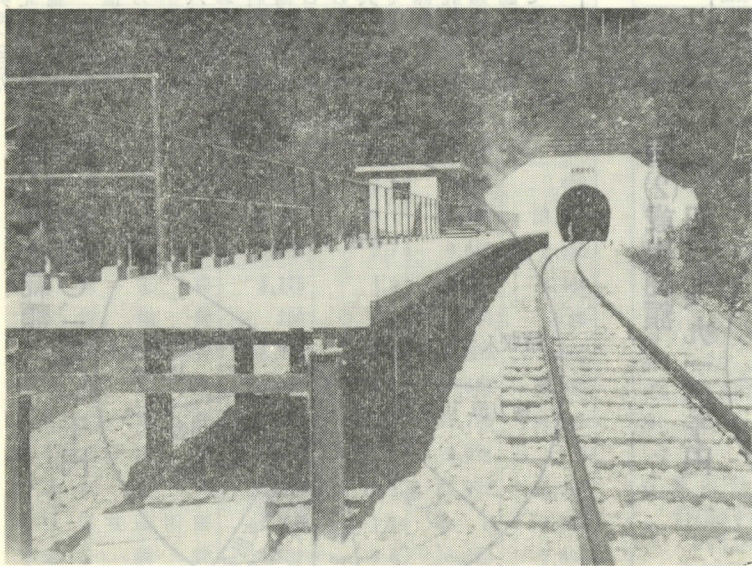
### 延長工事はほぼ完成

越美北線勝原〜朝日間の延長工事はほぼ完成、十月二十二日待望のレール踏み固め試運転のディーゼル機関車が終点本村朝日まで乗り入れました。十二月中旬開業の見通しも立ち、五十年來の本村住民の念願は、ようやくかなえられることとなりました。

勝原〜朝日間(一〇、一キロ)の延長工事は、八月上旬からレール敷設工事に入りようやくこの日を迎えたわけで、十月二十二日午前九時、勝原駅に到着した国鉄福井機関区のDE10型ディーゼル機関車は、乗務員や福井保線区、日本鉄道建設公団の関係者らを乗せ、敷き終ったばかりのレール上を朝日へ向けてスタート、六十五トンの巨体は最高三十五キロの速度で朝日までの区間を三往復して踏み固め、試運転を終りました。

「ポオーッ」と軽やかな汽笛を鳴らして朝日の駅(仮称九頭竜湖駅)にすべり込んだディーゼル機関車は、あたかも本村の将来に明るい夢と、限りなき発展をもたらす「どんな豪雪でも皆さんの足は私におまかせ下さい。」と呼びかけているようでした。

今後開通までのスケジュールは十一



月中旬までに途中の下山駅と、朝日の九頭竜湖駅(仮称)の駅舎完成、十一月下旬には電気関係工事の完了、十二月に入ると同時に客車による試運転を行ない、十二月中旬に開業となります。また十一月月上旬には国鉄から運輸大臣にこの区間の営業認可申請を提出することになっているとの事です。

(写真:完成した下山駅)

(注) 財政事情公表の都合で発行がおくれしましたことをおわびいたします。

財政白書

# 本村財政事情の公表

和泉村財政事情の作成及び公表に関する条例の定めるところにより村の財政事情を公表します。今回は昭和四十六年度決算と昭和四十七年度上半期の財政運営状況について、そのあらましを説明します。

この財政事情は村民の皆さんに村財政の現況をお知らせし、その実態と村政の動きを充分ご認識いただくためのものであります。

今後共村政発展のため一層のご協力をお願い申し上げます。

昭和四十七年十一月一日

和泉村長 杉本 又助

## 一、昭和四十六年一般会計決算状況について

昭和四十六年度は「森林の和泉、観光の和泉、地下資源の和泉」の新村建設基本方針のもとに、住みよい村造りをめざし、一般会計の決算額は歳入四億四千三十六万一千円、歳出四億三千七百九十一万円であります。

この内訳は(図①、②)のとおりであります。

この建設、振興山村特別開業事業(上大納農道)林道整備、水産業振興、道の整備、観光対策、大納教職員住宅の建設、大納中学校屋体増築等の建設事業に加え、村民の福祉、文化衛生に力を入れ、従来の施策の充実をはかると共に、新しく老人医療費の無償化を始めました。

では一般会計決算の概要から説明します。

### (1) 概要

昭和四十六年度一般会計は、当初三億六千八百七十七万二千円の規模であったがその後六回の補正により、最終予算は四億五千三百六十三万七千円となった。

これに対して決算額は歳入四億四千

三十六万一千円、歳出四億三千七百九十一万円であり、差引二百四十五万一千円の黒字決算となった。

最近三ヶ年の財政規模の推移を見ると別表①のとおりであります。歳入歳出ともに前年度の伸び以上の高い伸びを示しており、投資的経費に、歳出全体の五四%余を振り向けることが出来ました。

### (2) 歳入

歳入状況は別表②のとおりであり、地方交付税、国庫支出金、地方債などの依存財源が四五、三%をしめており、村税などの自主財源は五四、七%となっております。

村税収入は自主財源の主たるものであり、歳入全体の三一、四%をしめております。村税のうち八四%は固定資産税であり、これの大部分の八六・五%を電源開発KKの大規模償却資産税が占めております。

税の納入につきましては全体徴収率九九・八%と高率を示しております。

### (3) 歳出

歳出状況は別表(四)のとおりであり、歳出構成では総務費二六・一%

農林水産業費二二%、教育費一六・一%、土木費一三・二%と多くを示しておりますが、総務費においては庁舎の建設、農林水産業費においては、林道整備、振興山村特別開業等、教育費では教職員住宅建設、大納中屋体増築、土木費については道路、橋梁の整備などの建設費が増大したためであり別表⑥に主な事業の内訳を示してあります

又、歳出を性質的に分析すると別表⑤のとおりであります。普通建設事業費、災害復旧事業費等の投資的経費は歳出全体の五四・二%二億三千七百四十万八千円で前年度に比べ六千九百万円の増加であります。

## 二、昭和四十六年度特別会計の決算について

各特別会計の決算状況は別表⑦、⑧⑨、⑩のとおりであります。

⑨、⑩の国保、診療所、簡易水道、農業共済特別会計とも、一般会計からの繰入金などによってそれぞれ黒字決算となっております。

## 三、財産及び負債について

昭和四十六年度決算時(昭和四十七年三月末日)における財産の概要及び地方債の借入残高は別表⑪、⑫のとおりであります。

## 四、昭和四十七年度一般会計予算について

昭和四十七年度一般会計の九月末日における予算及び予算執行状況は別表⑬のとおりであります。

一般会計では当初四億三千八百十二万一千円でありましたが、その後四回の補正により四億六千六百三十八万二千円となりました。主な補正としまして、大納小プール建設に一千二百万円、朝日教職員住宅建設追加に四百二十九万円、朝日小プール建設追加に百万円、振興山村特別開業に百二十一万円、水

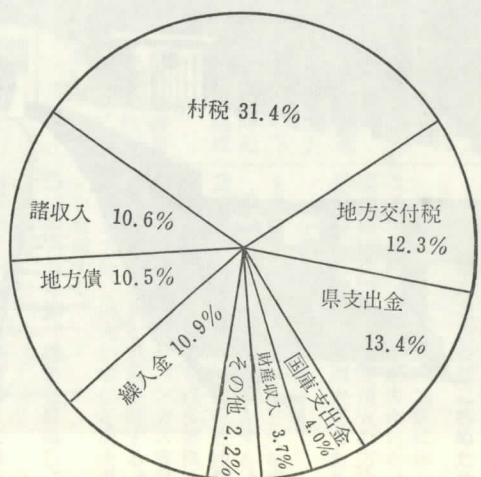
別表(1) 財政規模の推移

年度	歳 入		歳 出		差 引
	決算額	対前年度比	決算額	対前年度比	
44	279,889		270,958		8,931
45	318,103	1.137	310,100	1.144	8,003
46	440,361	1.384	437,910	1.412	2,451

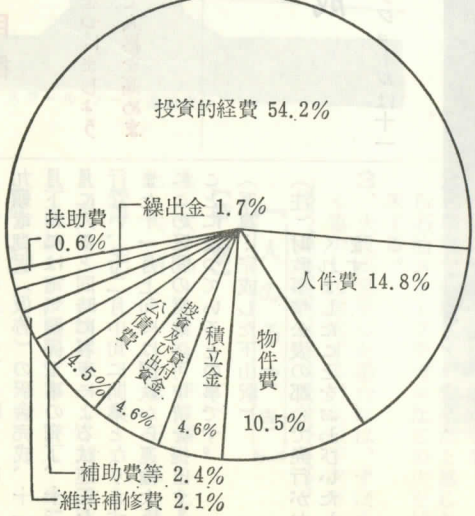
産業振興に二百万円、観光地整備事業負担金三百三十三万円、河川災害復旧負担金に三百四十六万六千円、災害復旧費三百六十二万八千円外となっており、

又、村民の福祉文化、衛生に力を入れ、従来からの充実をはかると共に本年より新しく母子栄養食品の無償化に加えて、乳幼児の医療費の無償化、青少年の訪ソ派遣を実施しております

図(1)歳入総額 四四〇、三六一千円

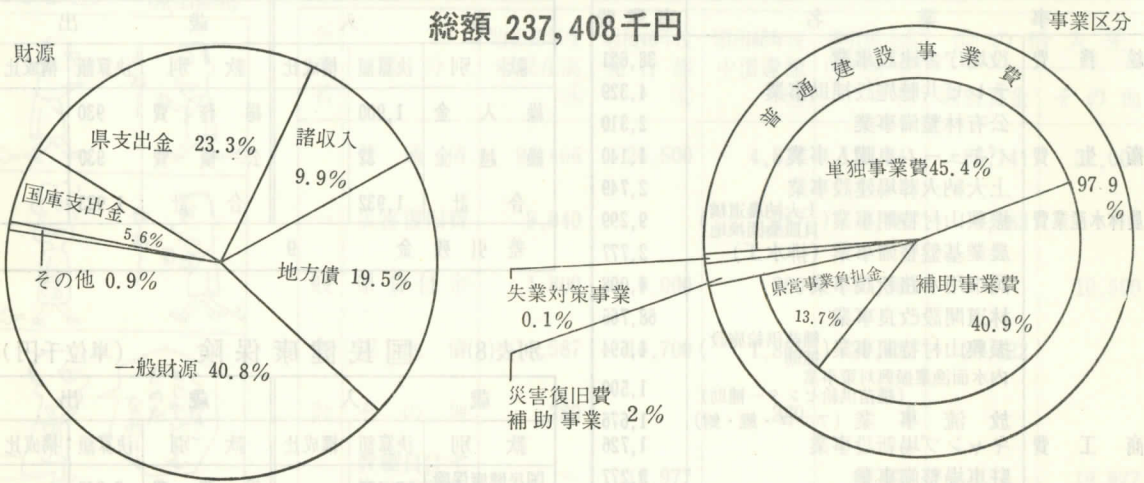


図(2)歳出総額 四三七、九一〇千円



図(2) 建設事業費の内訳

総額 237,408千円



別表(2) 歳入 (単位千円)

款別	区分	決算額	構成比	前年度との比較	
				前年度決算額	増減
1	村民税	138,185	31.4	136,578	1,607
2	地方譲与税	262	0.1	-	262
3	自動車取得税交付金	2,128	0.5	3,391	△ 1,263
4	地方交付税	54,020	12.3	40,408	13,612
5	分担金及び負担金	1,819	0.4	2,732	913
6	使用料	1,429	0.3	1,465	△ 36
7	手数料	226	-	576	△ 350
8	国庫支出金	17,593	4.0	7,104	10,489
9	県支出金	59,012	13.4	60,489	△ 1,477
10	財産収入	16,426	3.7	11,493	4,933
11	寄付金	265	0.1	500	△ 235
12	繰入金	48,000	10.9	20,100	27,900
13	繰越金	8,003	1.8	8,931	△ 928
14	諸収入	46,793	10.6	3,336	43,457
15	地方債	46,200	10.5	21,000	25,200
合計		440,361	100.0	318,103	122,258

別表(3) 村税賦課徴収の状況

科目	調定額	収入済額	未納額	徴収率(%)	
1	村民税	8,833	8,755	78	99.1
	個人	8,352	8,274	78	99.1
	法人	481	481	0	100.0
2	固定資産税	116,260	116,137	123	99.9
	純固定資産税	115,493	115,370	123	99.9
	交付金・納付金	767	767	0	100.0
3	軽自動車税	511	505	6	98.8
4	たばこ消費税	3,861	3,861	0	100.0
5	電気ガス税	847	847	0	100.0
6	鉱産税	7,598	7,598	0	100.0
7	木材引取税	567	482	85	85.0
合計	138,477	138,185	292	99.8	
国民健康保険税	2,412	2,185	227	90.6	

別表(4) 歳出 (単位千円)

款別	区分	決算額	構成比	前年度との比較	
				前年度決算額	増減
1	議会費	7,022	1.6	6,563	459
2	総務費	114,472	26.1	81,461	33,011
3	民生費	11,715	2.7	9,565	2,150
4	衛生費	8,175	1.9	3,711	4,464
5	労働費	256	0.1	170	86
6	農林水産業費	96,244	22.0	90,889	5,355
7	商工費	36,918	8.4	17,685	19,233
8	土木費	57,763	13.2	32,798	24,965
9	消防費	5,907	1.3	5,915	△ 8
10	教育費	70,585	16.1	39,979	30,606
11	災害復旧費	4,790	1.1	0	4,790
12	公債費	20,937	4.8	18,243	2,694
13	諸支出金	3,126	0.7	3,121	5
合計		437,910	100.0	310,100	127,810

別表(5) 性質別歳出

区分	決算額	構成比	前年度分		比較増減
			決算額	構成比	
人件費	64,725	14.8	54,851	17.7	9,874
物件費	45,994	10.5	43,438	14.0	2,556
維持補修費	9,185	2.1	5,787	1.9	3,398
扶助費	2,691	0.6	2,431	0.8	260
補助費等	10,492	2.4	11,080	3.6	△ 588
公債費	19,693	4.5	17,012	5.5	2,681
積立金	20,000	4.6	-	-	20,000
投資及び出資貸付金	20,173	4.6	-	-	20,173
繰出金	7,549	1.7	7,192	2.3	357
小計	200,502	45.8	141,791	45.7	58,711
投資的経費	237,408	54.2	168,309	54.3	69,099
内 普通建設事業費	232,362	53.1	168,139	54.2	64,223
うち単独事業	107,717	24.6	73,131	26.0	34,586
災害復旧事業費	4,790	1.1	-	-	4,790
失業対策事業費	256	0.1	170	0.1	86
合計	437,910	100.0	310,100	100.0	127,810

別表(6) 主な事業費内訳 (単位千円)

事業名	事業費
総務費	38,621
役場庁舎建設事業	4,329
テレビ共聴施設補助事業	2,310
公有林整備事業	1,140
衛生費	1,140
バキューム車購入事業	2,749
上大納火葬場建設事業	9,299
農林水産業費	2,777
振興山村特開事業(上大納農道橋 貝血桑園換地)	4,008
農業基盤整備事業(排水工)	68,765
岡畑用水路新設事業	1,694
林道開設改良事業	1,500
振興山村特開事業(種苗供給施設 補助)	1,676
内水面漁業振興対策事業 (種苗供給センター補助)	1,726
放流事業(アマゴ・鯉・鮒)	3,277
商工費	4,760
キャンプ場新設事業	25,451
駐車場整備事業	10,688
土木費	5,759
スキー場建設事業	990
道路整備事業	1,404
橋りょう整備事業	4,809
国・県道等改良事業負担金	19,906
消防費	4,790
小型動力ポンプ購入事業	3,126
教育費	
大納中学校屋体増築事業	
大納教職員住宅建設事業	
災害復旧費	
災害復旧事業	
その他	
用地取得事業	

別表(7) 簡易水道 (単位千円)

歳入			歳出		
款別	決算額	構成比	款別	決算額	構成比
繰入金	1,900		総務費	930	
繰越金	32		公債費	930	
合計	1,932		合計	1,923	
差引残金			9		

別表(8) 国民健康保険 (単位千円)

歳入			歳出		
款別	決算額	構成比	款別	決算額	構成比
国民健康保険税	2,185		総務費	2,249	
国康支出金	8,041		保険給付費	8,185	
財産収入	2		保健施設費	105	
繰入金	1,600		基金積立金	1	
繰越金	428		諸支出金	1,633	
諸収入	22		合計	12,173	
合計	12,278		合計	12,173	
差引残金			105		

別表(9) 診療所 (単位千円)

歳入			歳出		
款別	決算額	構成比	款別	決算額	構成比
診療収入	4,846		総務費	6,076	
使用料及び料 手数	15		医療費	1,578	
繰入金	2,778				
繰越金	663				
諸収入	9				
合計	8,311		合計	7,654	
差引残高			657		

別表(11) 財産

(1) 土地及び建物

区分	土地(地積) m <sup>2</sup>	建物		延面積計
		木造 (延面積) m <sup>2</sup>	非木造 (延面積) m <sup>2</sup>	
本庁舎			1,351.48	1,351.48
その他の施設		1,542.23	654.25	2,196.48
公共用財産		6,222.17	5,434.29	11,656.46
その他		1,422.66		1,422.66
山林	11,004,587.86			
宅地	9,023.93			
その他の土地	20,250.49			

(2) 有価証券出資金・貸付金及び基金(単位千円)

会計別	区別	金額	
一般会計	有価証券	590	
	出資金	3,586	
	基金	57,407	
	内訳	財政調整基金	57,207
		国民年金印紙購入基金	200
	災害救助資金	195	
国保会計	基金	57	

別表(10) 農業共済 (単位千円)

歳入			歳出		
勘定名	決算額	構成比	勘定名	決算額	構成比
共済勘定	615		共済勘定	427	
業務勘定	2,560		業務勘定	2,535	
合計	3,175		合計	2,962	
差引残高			213		

N056  
カシオ オヤジ  
07山みのる



別表(12) 村債の発行状況及び現在高 (単位千円)

会計名	区分	昭和45年度 未現在高 ①	昭和46年度 発行額 ②	昭和46年度 中償還額 ③	差引現在高 ④ ①+②-③	④の借入先	
						政府資金	その他
一般会計	普通債	94,466	26,500	4,834	116,141	85,141	31,000
	災害復旧費	9,940		2,957	6,983	6,983	
	県貸付金	1,800	9,000	300	10,500		10,500
	辺地債	11,587	10,700	1,865	20,422	20,422	
	その他	280		280	0		
特別会計	教職員住宅 資金委託分	-	19,977		19,977		19,977
	診療所	8,138		691	7,447	7,447	
	簡易水道	11,008		282	10,726	10,726	

別表(13) 昭和47年度一般会計予算 (9月末現在)

歳入 (単位千円)						歳出 (単位千円)					
款別	当初予算	補正額	現計予算	収 入 額	収入率	款別	当初予算	補正額	現計予算	予 算 執行額	執行率
村税	134,958	1,069	136,027	61,684	45.3	議会費	7,917	347	8,264	4,066	49.2
地方譲与税	1,400		1,400	336	24.0	総務費	52,325	12,668	64,993	30,306	46.6
自動車取得税 交付金	2,400		2,400	933	38.9	民生費	14,912	△277	14,635	6,695	45.7
地方交付税	62,000	18,331	80,331	46,602	58.0	衛生費	9,358	610	9,968	6,573	65.9
分担金及び 負担金	5,708		5,708	1,004	17.6	労働費	314	407	721	39	12.9
使用料及び 手数料	1,201		1,201	477	39.7	農林水産業費	110,581	2,614	113,195	63,121	55.8
国庫支出金	27,919	2,254	30,173	410	1.4	商工費	49,925	△16,405	33,520	12,537	37.4
県支出金	72,802	2,114	74,916	183	0.2	土木費	65,049	4,666	69,715	16,299	23.4
財産収入	3,239	1,890	5,129	5,013	97.7	消防費	7,908	△361	7,547	4,114	54.5
寄付金	3,400	2,803	6,203	970	15.6	教育費	90,108	21,274	111,382	54,717	49.1
繰入金	40,000		40,000	10,000	25.0	災害復旧費	0	3,628	3,628	0	0
繰越金	100	2,351	2,451	2,451	100.0	公債費	24,190	0	24,190	11,199	46.3
諸収入	21,094	4,504	25,598	5,297	20.7	予備費	5,534	△1,071	4,624	0	0
村債	61,900	△7,200	54,700			計	438,121	28,261	466,382	209,666	45.0
交通安全対策 特別交付金		145	145								
計	438,121	28,261	466,382	135,360	29.0						

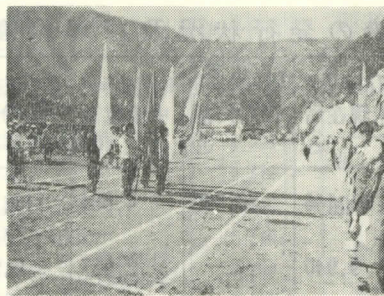
### 第十六回村民体育大会

## 優勝旗は赤チームへ

五、〇〇〇メートル1、2、4位は中学生に

まれにみる雲一つない日本晴、しかも金山紅葉した絶好の大会日和に恵まれて、第十六回和泉村民体育大会は、十月二十九日、六百人以上の村民を集め、かつてない大盛況の中に、朝日中学校グラウンドで開催されました。

今年、運営委員会（各区分長さんで構成）や実行委員会（体協全役員で構成）の要望もあって綱引きが復活し、大会の意気はさらに高まりました。大会の華五、〇〇〇メートル競走（朝日中谷戸橋折返し）は、総勢二十六人の大選手団が一固まりで出発しまし



選手宣誓の一幕

た。折から日曜日とあって国道一五七号線は観光バスや乗用車が列をなし、地元警察の方などの協力を得て、数十台をストップさせての競走でした。

中でも、大納中学から五人、朝日中学から四人が参加し、しかも、一位、二位、四位と上位五人中の三人を中学生が占め、あらためて若者の元気に感謝させられました。

総台成績は次のとおりです。  
優勝 赤チーム 一二七点

- 次勝 緑チーム 一二〇〃
- 三位 橙チーム 一一七〃
- 四位 白チーム 九八〃
- 五位 青チーム 七二〃

- 綱引き 白チーム
- 総合リレー 赤チーム
- 応援賞 青チーム

### 穴馬民踊保存会が発足

会長に 三島藤市氏

過去に穴馬踊り保存会があり、自然消滅の状態となっていました。この程、村内各部落の有志四十数名が集まり「穴馬民踊保存会」を設立し、会長に三島藤市氏を選び、会則や年間行事計画などを決めました。

戦前は、盆踊り、秋祭りなどと称して八月中旬から冷気膚を刺す十月末頃まで各部落の道場で夜明け近くまで踊り続けられたものです。

この踊りの場こそ、村人全体の唯一の娯楽の場であり、あるときは「嫁見むこ見」の場ともなり、成長する若者の晴れ姿の見せどころでもあり、年中最大の行事として、当時の村人の欠くことのできない生活の一部にもなっていたものです。

戦後社会状況の激変に会い全国的にこれら郷土芸能は忘れ去られようとしています。物質的に恵まれてはいるものの、何故か心の中的空虚な寂しさをぬぐい去ることはできません。それは情緒の枯渇であり、また人間としての心の欠如であります。これらが因となり、いまわしい殺伐たる事件、犯罪を引誘している事実も否定できません。

このようにときに、長い歴史と伝統をもち、村人達の体の中に浸みこんでいる穴馬民踊こそは情緒豊かな「生きた歴史」であり尊い文化遺産であります。今回の保存会の誕生が全村的であり、熱意のもとに誕生したことに意義があります。単に歌や踊りの保存のみでなく、心の豊かさを求める次元の高いものであり、着実にその目的を達成されるよう、限らない発展を望みます



秋祭りの行事の一つおみこしかつぎ

### 職業訓練生の募集

来春中学または高校修了予定者

福井総合高等職業訓練校では、来春中学校または、高等学校修了予定者から次の要領により、職業訓練生の募集をしています。くわしくは、大野公共職業安定所または直接に、武生市行松町、福井総合高等職業訓練校（電話☎局一〇一〇番へお問合わせ下さい）。

- 一、募集職種及び訓練期間
- 機械科、板金科、電気工事科、自動車整備科、木工科、塗装科
- 二、応募資格
- 来春中学校又は高等学校修了予定者

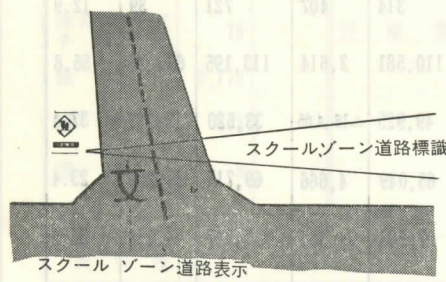
### 三、募集期間

昭和四十七年十一月一日から十二月末日まで

### スクールゾーンの成功を

交通から子どもと老人を守る

スクールゾーンとは、子どもの交通安全を確保するための特定地域のことです。本村では、大納小学校附近と、下山小学校附近および朝日小学校の附近にそれぞれ次のスクールゾーン道路標識が立っています。



### 地震が起きたらばいその二

#### 出火防止と初期消火

##### 第二次災害起さぬため

地震による被害は、地震に伴って起こる火災によるものが大きいので、家庭での出火防止と初期消火の方法などを習得しておくことが大切であります。平素の心得

- 1、ストーブ、コンロなど火を使う器具周辺の整理、整頓をする。
- 2、灯油、ベンジンなど可燃性危険物品などの保管場所を点検整備する。
- 3、ストーブ、プロパンガス容器など火を使う器具を点検整備する。
- 4、消火器、消火用水など消火用資材を整備する。
- 5、消火の知識、技術を習得し、消火訓練をしておく。
- 6、隣近所がお互いに協力して消火を行なうための体制をつくっておく。

##### 地震発生時の心得

- 1、地震だと感じたら、落ちついて情勢を判断し、まず丈夫な机やベッドなどの家具や柱に身を寄せる。
- 2、情勢を判断して、安全だと感じたら石油ストーブやガスなどの火を始末する。
- 3、火災が発生した場合には、すばやく協力して消火する。（以下次号）

### 人のうごき

- 【婚姻】
- 上大納 伊藤 ひとみ
- 上大納 車田 二郎
- 【出生】
- 上大納 松林千一 竹夫 長男
- 上大納 藤岡繁幸 繁人 長男
- 【死亡】
- 上大納 佐々木三五郎 八四才